

「ロジカルシンキング強化プログラム」

* **狙い**：若手社員に対しては、指示待ち、受け身にならないよう、「今、何をなすべきか」を自ら問い続け、論理的根拠に基づき意思決定し、自発的行動に移していくよう育成していく必要があります。ここでは、「自ら考える」習慣化を図るため、思考能力、特に、ロジカルシンキングのスキルを演習を通して体得します。

* **対象者**：新入社員から入社3年目程度の若手社員を中心とします。

* **標準コース運営**：参加者数：15名～24名、1日コース

* **進め方の特徴**：「自ら考える」と「議論し、意見を統合・共有する」ことの習慣化を意図した進め方としています。

まず、個人で3つの課題に取り組んで頂きます。その上で、グループ討議によりグループとしてのベストアンサーを導き出して頂きます。併せて、発表・質疑の場も設けますので、有効なロジカルシンキングが皆で共有できます。

* **プログラムの組み立て（標準版1日コースの場合）**

上記の狙い、進め方を踏まえ、以下のとおりプログラムを組み立てています。これらを通して、それぞれの職場でも使える実践的なロジカルシンキングのスキルを体得していきます。

- ・ **個人演習**

比較的タイトな制限時間を設けた上で、3つの課題に取り組んで頂きます。

- ・ **グループ討議演習**

複数のグループを編成し、3つの課題について「グループ討議／発表」を行います。自身の解答の良し悪しに関わらず、気づきを得ながら、グループのベストアンサー導出に参画します。

また、講師による「効果的なプレゼンテーション」の解説を踏まえ、各自、グループの代表として発表頂きます。

- ・ **行動目標発表**

上記の演習を踏まえ、各自、仕事に取り組む上での行動目標を発表して頂きます。